



議会だより

なよろ

24

No.

2012.5.1 発行



五月の空。陽春の風を受けて気持ちよさそうに泳ぐ鯉のぼり
(北国博物館)



まるで「森の妖精」のようなカタクリ

小さい春みつけた



可憐に咲くオオバナノエンレイソウ

第1回定例会

定例会で決まったこと.....	2
可決された意見書.....	2
予算審査特別委員会・議員協議会.....	3
代表質問に3人・審議日程.....	4 ~ 6
一般質問に9人・用語解説.....	7 ~ 11
議員会研修会.....	12
各委員会活動報告.....	13
きぼう・議会日誌・編集後記.....	14

第 1 回定例会 2 月 29 日から 3 月 22 日までの 23 日間

～ 平成 24 年度各会計予算案を可決～

全会計382億5,814万7,000円に

平成 24 年第 1 回定例会は、2 月 29 日から 3 月 22 日までの 23 日間にわたって開かれました。議案審議では、条例案 13 件、補正予算案 11 件、新年度予算案 11 件、その他 6 件、報告 2 件、意見書案 3 件、請願 1 件を審議しました。そのうち新年度各予算案については、予算審査特別委員会を設置しました。

平成 24 年度市政執行方針および教育行政執行方針を受け、3 月 12 日に各会派を代表して 3 人の議員が代表質問を、3 月 13 日、14 日には 9 人の議員が一般質問を行い、市政の課題について質問しました。

■ 主な条例

名寄市介護保険条例の一部改正について

介護保険法の規定に基づき、名寄市第 5 期介護保険事業計画を定め、当該事業計画に基づき本条例で規定する第 1 号被保険者の介護保険料を改めようとするものです。市民福祉常任委員会に付託して審査、原案通り可決しました。

名寄市営住宅管理条例の一部改正について

第 1 次地域主権一括法が公布され平成 24 年 4 月 1 日から、公営住宅法で規定する同居親族要件が撤廃されることから、名寄市営管理条例において、同居親族要件を規定するため、条例の一部を改正するものです。経済建設常任委員会に付託して審査し、原案通り可決しました。

■ 主な補正予算

市道除雪・排雪対策事業費 6,600 万円追加

今年度の降雪の状況により、増加している除雪及び排雪にかかる委託料を増額しました。

■ 人事案件

教育委員会委員



名寄市教育委員会委員の任命について同意しました。

松田 潤子氏（再任）

名寄市風連町字中央 553 番地 1

人権擁護委員

人権擁護委員候補者の推薦に同意しました。

関下 富士夫氏（新任）

名寄市風連町仲町 138 番地 11

可決された意見書

- ・若者の雇用推進を求める意見書
- ・父子家庭支援策の拡充を求める意見書
- ・平成 24 年度畜産物価格決定等に関する要望意見書

平成24年度 予算審査特別委員会

原案通りに可決

名寄市の平成24年度予算は一般会計で前年度比3.2%減の194億4,497万4,000円、8件の特別会計で前年度比9.5%増の82億7,169万円、2企業会計で7.7%増の105億4,148万3,000円。全会計総額は、前年度比2.2%増の382億5,814万7,000円となった。

2月29日の本会議で平成24年度予算審査特別委員会（山口祐司委員長・奥村英俊副委員長・全議員で構成）を設置して予算案が付託された。

3月16日、19日、21日、22日の4日間で実質審査を行った。

最初に各会計にわたる横断的な事項について、各会派の代表者3名による総括質疑を行った。

その後、各会計審査に入り、平成24年度の中心的な事業である（仮称）複合交通センター整備事業、北斗・新北斗公営住宅建設事業、名寄市の知名度向上と交流人口の拡大を図るための

観光振興事業や市民ニーズなどについて、多くの質疑が相次ぎ、白熱した議論が展開された。

最終的には、平成24年度一般会計予算案、平成24年度国民健康保険特別会計予算案をはじめとする8特別会計予算案及び平成24年度病院事業会計予算案等ほか2企業会計予算案については、審査の結果、いずれも原案のとおり可決すべきものと決定し、3月22日の本会議で報告した。



山口祐司委員長（左）と奥村英俊副委員長（右）

議員協議会

観光振興計画と市民ホール

2月29日と3月7日の両日、議員協議会が開かれた。名寄市観光振興計画の計画内容と（仮称）市民ホールの進捗状況について報告と質疑が行われた。名寄市観光振興計画については、新名寄市総合計画後期計画の基本目標-6「観光の振興」との整合・調整を十分に図り、総合的な交流振興における基本的な理念や方針を掲げ具体的な戦略事業を示したもので、平成24年度から長期的な視野にたち目標年度を10年後の平成33年と定めている。議員からは、冬の観光振興策、観光客用プレミアム商品券、レンタサイクル等について質疑や提言が行われた。引き続き（仮称）市民ホールの基本設計の8案の説明を受けた。質疑において国の事業採択要件である可動席についての是非について可動が必須ではないとの見解が示された。次の3月7

日の議員協議会において市長から（仮称）市民ホールについて、国の事業採択にあたりこれまでの説明では大ホールについては、多目的なホールの要件や建設後の稼働率も含めて可動式座席が3分の2以上あることが条件という説明をしてきたが国の採択基準の中には、可動式座席が絶対の条件では無いとの謝罪の説明があった。これを受けて市民や関係団体等に固定席の選択も含めた説明会を改めて開催し、平成26年9月の完成に向け市民のニーズに答えていくとした。



真剣な質疑応答が展開された議員協議会

代 表 質 問

財産を活かす行政運営

市政クラブ 東 千春 議員



■ 財産の有効活用を

問 名寄市立大学へより多くの市民が入学できるように学力支援や、大学と行政の情報交流で先進的な行政運営を。市が保有する不動産の活用と、企業誘致や定住促進に向けた気象条件などのデータ作成をすべきではないか。

答 高大連携による授業体験や高校訪問で、地域からの入学促進を図るが、直接の学力支援は難しい。大学教員には、各種委員会や計画策定に参画して頂いている。福祉の情報など大学の情報を活かす事がテーマとなる。さらなる協議の場を設けたい。

南広場は雨が降ると使えない、砂ぼこりがたつなどの問題があるが、自由広場として利用促進を図りたい。

名寄市の有利な気象条件や、空地などの民間情報も含めたパンフレット作成を行いたい。

■ 職員管理について

問 職員の努力や能力が反映される給与体系や、プラス評価の積極的な活用を。懲戒処分と内部告発保護の考え方は。また、今後の管理職外部登用の考え方は。

答 人事評価により能力や実績を反映した対応が求められるが、慎重に対応したい。

職員の適正な評価とモチベーションを高めるための職員提案や、特別な功績などに対し表彰を行っており、さらに意識の向上を図りたい。懲戒については、賞罰審査委員会で検討し、処分の人数と内容を明らかにしている。民間では内部告発で不利益にならないような方法が行われており、名寄市でも対応したい。

過去に職員採用をしない期間があり、年齢構成にばらつきがある。若手職員の経験の蓄積を図る人材育成を進めている。今後は社会人枠の採用を検討し、外部からの管理職登用は今後の職場状況を見極めて検討したい。



名寄市立大学は名寄の知的財産

審 議 日 程

2月29日(水)

- ・開会
- ・委員長報告(付託議案)
- ・市政執行方針
- ・教育行政執行方針
- ・議案等審議
- ・予算審査特別委員会

3月7日(水)

- 市民福祉常任委員会
- 議会運営委員会

3月12日(月)

- ・請願付託

・代表質問

総務文教常任委員会

3月13日(火)

- ・一般質問

3月14日(水)

- ・一般質問

3月15日(木)

市民福祉常任委員会

経済建設常任委員会

総務文教常任委員会

3月16日(金)

予算審査特別委員会

3月19日(月)

予算審査特別委員会

議会運営委員会

総務文教常任委員会

3月21日(水)

予算審査特別委員会

3月22日(木)

予算審査特別委員会

・委員長報告(付託議案)

・議案等審議

・閉会

代 表 質 問

暮らしと命を繋ぐ市政に

市民連合・凜風会 熊谷 吉正 議員



■ 執行方針とまちづくり

問 少子・高齢化、人口減への最優先課題は、安心して子どもを産み育てること、つまり障がい者や高齢者福祉そして冬の生活等への支援により、これからも「安心して名寄に住み続けたい」という結果を出すことだ。憲法25条（生存権）の理念とのかい離を直視した独自施策が弱い。地域主権時代に対応するスタンスはいかに。「ひまわりや観光だけでは限界」の声も聞くが...

さらに学校教育における管理教育強化を危ぐし、子どもと教師がふれ合う時間の確保と民主教育推進を求める。

答 限られた財政で国は給付を、行政はサービス基盤に投資し、結果を出すために良くなると実感できるよう努力する。先の見えない時代なので地域資源を生かし、着実な地域振興と指

摘された事を受け、自治法にある住民福祉増進に努め最小限の経費で最大の効果を上げたい。

■ 福祉・行革・まちづくり

問 子育てへの経済支援ニーズが55%、高齢者には門口除雪を。地域のことは地域で決める予算を付けた自治区制度の検討を。総計5年の年次計画を公開し、市民に理解を求めたらどうか。市職員の能力を発揮する職場環境改善と、誰のため、何のために仕事をするか問われる時代だ。

答 国の子ども手当もあり、行政としてのトータルな施策、基盤を整え長いスパンで努力する。地域コミュニティ醸成の支援をしながら、地域自治区を検討する。行革では職員の厳しい意見もあるが対話と人材育成に努める。総計年次計画は数字が一人歩きするので慎重に対応したい。他の質問・市立病院改革プラン・TPP反対と農業振興・労働者の雇用対策と労働行政のあり方・中心街市街地活性化と振興条例の見直し・舗装率、排雪向上、水道、下水道計画によるインフラ整備等促進・北体育館の活用・名寄市立大学の現状と課題



子育て支援に地域の輪を広めよう

議会スナップ

第23回ふうれん冬まつりが、2月10日、11日の両日に仲町特設会場で開催されました。旧風連町時代から議員造成の干支とすべり台を組み合わせた雪像を出展しています。今年も延べ13人の議員で汗を流し造成しました。当日、子どもたちがすべり台をうれしそうに滑る笑顔を見て、汗を流した議員たちも笑顔になりました。



雪像の仕上げを見守る議員たち

代 表 質 問

適正配置と施設整備は

新緑風会 山口 祐司 議員



■ 風連地区の適正配置は

問 小中学校の適正配置計画及び施設整備計画では、地域と連携しながら効率的・計画的に進めるとしているが、どのような手法で進めていくのか。

答 風連市街地区や郊外農村地区などが個別に抱える問題、特に将来の児童・生徒数の推移や校舎の老朽化の状況などは、地域の方が把握できないこともあると考えている。今後、地域からの要望があれば、地域別に情報交換を行うなど、その地域の課題や将来の地域教育のあり方など共通認識に立ちながら、適正配置や学校施設の整備について語り合う場を設定するなどして対処したい。

■ 農地集積と担い手対策

問 戸別所得補償制度が導入されて、担い手へ

の農地集積が停滞するのではとされているが、影響は。また、今後の名寄市農業の将来を左右する担い手対策、特に新規就農者を呼び込むための対策は。

答 戸別所得補償制度導入後の農地流動化については、平成22年度に若干移動面積が減少しているが、制度導入の影響ではないものと考えている。

新規就農者対策は、名寄市担い手育成センターの機能強化を図る中で、農業振興センターを活用したものを考えている。具体的には、施設園芸作物を中心とした研修の場と位置付けし、研修プログラムを2から3程度認定して、募集活動を行う。周知の方法は、北海道担い手センターと名寄市のホームページを活用するほか、札幌や東京で行われる「新・農業人フェア」に出展する。また、杉並区に派遣する職員を窓口として活用する。

他の質問・財政健全化に対する取り組み・男女共同参画社会の形成・福祉行政について・教育行政について・市政運営の折り返しを迎えて



新規就農者の研修の場となる農業振興センター

議会からのお知らせ

このほど名寄市議会に携帯型受信機12台導入されました。同機は、発言者のマイクの音声を直接聴くことができるため、発言内容などがより理解しやすくなります。すでに数名の議員が利用しており、聞き取りやすいと大変好評です。傍聴される方にも貸し出しを致します。ご希望の方は議会事務局までお申し付け下さい。



写真上は携帯型受信機（左が本体、右がイヤホン）

一般質問



孤立死させないまちづくり

日本共産党

川村 幸栄 議員

支える仕組みづくりを

問 札幌で、40歳代の姉妹が3回も区役所保護課で相談していたにもかかわらず、遺体で発見されるなど、痛ましい事件が起きている。孤立死、困窮死をさせないまちづくりが急がれる。

高齢者では介護認定の申請・更新の状況把握など、障がい者では就労支援やグループホーム入居支援など、子育て支援では虐待発生予防などの対策が必要。生活困窮者等への支援では、生活保護制度の周知徹底をし、相談者には申請の意思を確認すること。生活保護ケースワーカーの削減は、セーフティネットである生活保護受給を狭め、負担を増大させるだけ。市が責任を持って支援体制を。



スポーツツーリズムの推進を

公明

高橋 伸典 議員

スポーツ観光への取り組みを

問 企業・スポーツ団体・観光協会との連携によるスポーツイベントの誘致、合宿の受け入れ等は、交流人口の拡大と経済波及効果に繋がると思うため、スポーツツーリズムの推進を。

答 昨今の厳しい経済状況の中で、各地域において交流人口の拡大による経済波及効果を図るための施策の一つとして、スポーツによる観光振興を進めるため、スポーツツーリズムが注目されている。本市には、素晴らしいスポーツ環境に恵まれた既存施設がある。こうした環境を最大限に活用して、スポーツを活用したイベントの誘致などの新しい観光価値の創造を図り、観光協会・民間企業・スポーツ団体・行政との

答 支援情報を一つにした「要援護者台帳」を次年度に整備する。見守りには町内会ネットワークや民生委員などの地域協力が不可欠。

食品放射能測定器購入を

問 福島原発事故後1年が経過。食品の放射能汚染への関心が高まっている。安全・安心な給食に取り組んでいる名寄市として測定器購入の考えは。

答 他市の状況も把握しながら研究したい。他の質問・地域文化の継承と創造について



子どもたちに安心・安全な給食提供のために、放射能測定機器の導入を

連携と「オール名寄体制」組織の中で、スポーツツーリズムの視点からイベントや合宿誘致、スタッフ育成、ホスピタリティーについて検討する。

孤立死への対応について

問 札幌市で、40代の姉と知的障がいのある妹が孤立死する残念な事故が起きた。本市の対策は。

答 介護保険、福祉サービスを利用している高齢者、手帳交付を受けている障がい者の関係情報を要援護者台帳で整備し、見守りを強化する。



スポーツを活用したスポーツ誘致

一般質問



市民理解が条件

市民連合・凜風会
奥村 英俊 議員

東日本震災がれき受け入れについて

問 北海道と環境省が、札幌市で岩手県・宮城県のがれき処理について説明会を開催した。名寄市は出席しなかったとのことだが、内容の把握は。また、北海道からの受け入れ要請はあったのか。

答 災害廃棄物の現状と最終処理へのスケジュールの説明。市単独での安全基準設定は難しく、放射能汚染がなく、安全安心が担保され、市民理解が得られて初めて対応が可能。道からの受け入れ要請はなく、現在は白紙の状態。

教育行政について

問 小中学校では読書活動が定着、高校生の読書離れの克服を。放課後の児童・生徒の安全な

居場所を校区ごとに設置を。また、ミニ児童館を設置しては。天文台や豊かな自然を活かした授業で、地域の魅力に気付き、郷土への愛着へと繋がるカリキュラムを取り入れてはどうか。

答 高校生の読書活動は学校司書教諭とも連携して取り組む。放課後の居場所の設置は校区ごとが理想。ミニ児童館はすでに取り組みされているところを参考に。カリキュラムの研究は、教育改善プロジェクト委員会で検討する。他の質問・公契約条例制定について



石巻地区のがれきが処理される2次仮置場(石巻市雲雀野町)



冬の観光について

市政クラブ
川口 京二 議員

北の天文字焼きの復活を

問 復活を前提とした協議が必要なのでは。

答 NPO法人なよろ観光まちづくり協会を中心にさまざまな議論がされ、後継者の問題や天文字焼きのあり方について見直す機会を設けたい等の理由により、協議の結果中止となった。

20年以上の長きにわたり実施されてきた冬の風物詩としての催しが中止となり、あらためて天文字焼きの必要性の有無、復活するとしても「天文字」ではなく違う文字の可能性など、再度原点に戻って、関係者・団体及び市民の意見をしっかりと聞き、協議を重ねていくことが必要と考える。

町字名変更について

問 誰にでも分かりやすい住居表示への変更はできないか。

答 これまでも条丁目への変更を進めてきたが、いまだに番地表示のところもある。しかし、住居の表示が変わることで一番影響を受けるのは、そこに住まわれている市民の方々である。今後は市民との意見交換の場や庁内各部局との情報交換などで課題意識を持ち、実施が必要な地区を確認し検討する。

他の質問・除雪排雪について・名寄庁舎周辺の冬季の安全管理について



復活が望まれる「北の天文字焼き」

一般質問



市民が主役のまちづくりを

新緑風会

大石 健二 議員

■ 名寄市の病診連携について

問 本来の病診連携は、地域の核となる病院と診療所が互いに役割や機能分担をしながら患者の治療に当たることを指す。第三次保健福祉医療圏のセンター病院である名寄市立総合病院と共にその一翼を担う市内の開業医の高齢化や後継者不足が指摘されている。健全な病診連携の維持構築に向けた名寄市の対応は。

答 第1次緊急医療体制の確保を目的に、市立総合病院及び東病院、開業医師会が当番制で日曜祝日に軽症の患者の診療に当たっており、それぞれ役割及び機能分担を果たしている。

■ 管理不全の空き家対策について

問 今冬は雪害による被害が甚大だ。特に無

人の家屋の屋根に堆積した雪が今にも建物を押しつぶし、近隣の市民や近接する建物などへの重大な損害の発生も危惧される空き家が各所で散見される。名寄市の対応と今後の取り組みは。

答 空き家雪下ろしを要望する苦情が20件程度寄せられている。権利関係等で放置された空き家については今後、対策を講じるための情報収集に努めていく。

他の質問・加藤市長の執行2年を省みて・生活困窮者と障がい者対策について・中心市街地の活性化について・観光振興計画の取り組みは



空き家のSOSが聞こえる！



望湖台振興しっかりと

市民連合・凜風会

日根野 正敏 議員

■ 望湖台利用計画について

問 観光や憩いの場として市内はもとより近隣市町村の中でも観光資源としても高いポテンシャルと市民に愛されている自然公園、衰退しない振興整備計画の推進と地域や利用団体の要望にしっかり対応すべき。

答 関係する15団体に要望意見を伺ってきた。センターハウス閉鎖後の対応として、温泉施設の利用者への代替えは、なよろ温泉サンピラーへの団体バスを無料運行し対応する。自然公園や既存の施設は、維持をして、市民の意見を参考にし、市全体の公園施設状況を勘案し喜ばれる施設運営をする。

■ 農水省事業の積極的な活用を

問 農水省では平成24年度、林・水産庁事業を除き272に及ぶ事業がメニュー化されている。大型の事業については周知しているが他の事業も振興計画に基づき農業者に多くの事業を積極的に周知と利用を呼びかけるべき。

答 補助メニューについては多岐にわたっていることから、生産者からの要望把握が重要であると考えている。日頃から結びつきのある団体とも連携をとり、要望把握を喚起する紙面の工夫をして取り組む。



憩いの場として親しまれてきたセンターハウス

一般質問



地域の将来を見据えた施策を

市政クラブ

山田 典幸 議員

■ 地域農業の展望について

問 観光振興計画の中で、基幹産業である農業が果たす役割をどのように考えているか。

答 農産物を利用した特産品開発やブランド化による物産振興、安心・安全及び高品質の特性を活かしたストーリーの構築によるPR戦略、グリーンツーリズムと連携した教育旅行誘致事業など、「食」「イメージ」「体験」という大きな可能性を持っており、観光事業の推進を図る上で重要な役割を担っていると認識している。今後、農業関係団体とも連携し、事業の展開を図る事が必要と考えている。

■ 教育行政について

問 郊外農村地区における学校適正配置と学



安心・安全対策を

市民連合・凜風会

竹中 憲之 議員

■ 市病のスタッフ体制は

問 名寄市立総合病院の看護スタッフの労働実態は。代休消化及び有給休暇が取れないことによりリフレッシュできないとしたら事故に繋がることも考えられるが、取得状況は。消化器内科の再開に伴う各病棟・外来における看護スタッフの配置と、7対1体制について。

答 代休はおおむね消化できているが、部署によっては3から5日の未消化がある。有給休暇については、診療部・看護部で取得率が低い。業務量と人員数のバランスに起因するものと考え。7(患者)対1(看護師)体制については、4月は現行で、2~3カ月経過を見て、患者数が増えず、現行の看護師数で導入が可能であれ

ば実施する。

答 適正配置計画推進の第1期段階として、「適正配置の検討を行い、その方向性を決定して再編を実施する。」としており、地域に対して児童・生徒の推移など十分な情報提供を行い、地域との共通認識に立って、適正配置や施設整備に関して議論できる場を設け、地域との共通理解を得ながら方向性を定めていきたい。他の質問・人・農地プランの策定について・雪や冬を活かした教育のあり方について



オール名寄体制での観光振興を

ば実施する。

■ 空き家家屋の安全対策

問 危険家屋の対策について、歩道に面した落雪対策等は、どのような指導や周知を図ったか。

答 19年の調査では、113件の空き家を確認。雪下ろし等については、所有者に管理責任があり、所有者・親族に要請している。緊急を要する時は町内会と相談し、要請している。歩道等に落雪のおそれがあり通行に危険・支障の箇所は、建設水道部で注意看板を設置している。他の質問・指定管理者制度のあり方について



7(患者)対1(看護師)体制が望まれる市立総合病院

一般質問



安心カードについて

市政クラブ
宗片 浩子 議員

安心カードについて

問 名寄市教育センター、ハートダイヤル(安心カード)の相談内容の傾向と安心カードの今後の扱いは。

答 平成21年～22年度の小中学生の相談傾向は、不登校が最も多く、次にいじめの順となっている。保護者は不登校や登校しぶりの相談が最も多い。家庭内の親子関係や生活相談も関連して多い傾向である。安心カードは小中学校の全生徒に配付している。平成23年度から公共施設の窓口等にもカードとパンフレットを設置しており、今後も安心カードの配布や広報活動を続けていく。

児童虐待について

問 本市の実態と保護された施設、また、取り組みは。

答 本市における児童虐待は、平成19年度8件、20年度9件、21年度20件、22年度27件、23年度現在26件。保護された施設には旭川児童相談所に22年度2件、23年度2件が一時保護された。一時保護した児童は児童福祉施設である児童養護施設や里親の元で養育されている。児童虐待の未然防止、早期発見等に地域関係機関や団体の関係者と連携を図り協力して取り組む。

他の質問・食育推進計画について



ひとりではやむの、もうやめよう!

用語解説

1 生活保護ケースワーカー

生活保護を受けている人(世帯)に対して、さまざまな働きかけをする現業員のこと。ケースワーカーの配置数は、社会福祉法の規定により、郡部福祉事務所では65世帯に1人、市部福祉事務所では80世帯に1人とされている。

2 スポーツツーリズム

スポーツのイベントやレジャーを観光資源として生かすこと。「スポーツ観光」ともいわれる。カナダや韓国が積極的に取り組んでいるが、日本ではあまり進んでいない。そこで観光庁では、日本野球機構や日本オリンピック委員会などのスポーツ団体、近畿日本ツーリストなどの観光関係企業や広告代理店などによる「スポーツツーリズム推進連絡会議」を設立している。

3 ホスピタリティ

「思いやり」「心からのおもてなし」という意味で、特にサービス業でよく使われている。形や行動などで示す「マナー」は相手に不快感を与えないための最低限のルールで、そこに「心」が加わると、ホスピタリティになる。深い心地良さが加わることで、信頼や信用、安心感が生まれる。

4 グリーンツーリズム

農山漁村地域において自然、文化、人々との交流を楽しむ滞在型の余暇活動のこと。欧州では、農村に滞在しバカンスを楽しむという余暇の過ごし方が普及しており、滞在の期間は、日帰りの場合から長期的または定期的・反復的な(宿泊・滞在を伴う)場合までさまざまである。

市議会議員会新年研修会

『名寄はもっとよくなる私の提言』



新年研修会で熱く講演する藤盛一郎道新名寄支局長

名寄市議会議員会（宗方浩子会長）主催の新年研修会が1月11日、市内のレセプション会場で開かれた。講師に北海道新聞・名寄支局長の藤盛一郎氏（50）を招いて「名寄市はもっとよくなる」をテーマに名寄市の地域資源を生かしたマチづくりについて講演、出席した議員の耳目を集めた。

この新年研修会は、議員間の新年交礼会に併せて開かれており毎年、講師に各界の専門家や著名人を招いて、議員の専門的な知識や見識を深めるのがねらい。

昨年7月に名寄支局に赴任した藤盛氏は、短期間の在住にもかかわらず、その精力的な取材活動を通して名寄市の地域資源を活用したマチづくりについて言及した。藤盛氏の言う地域資源は農産物をはじめ市立総合病院を核とする地域医療、市立名寄大学、昨年5月に開台した天文台などを例に上げて有効な利活用を図る事が重要と述べた。

一方で取材の過程で耳にした幹部職員^{ひげ}の卑下した「ウチのかまどでは」の話しに苦言を呈し、「市職員の作文技術を高める」ことでさまざまな事業予算の獲得に取り組んでいくことのできる職員の意識改革をも指摘する。

藤盛氏は、名寄のブランド力を高めていく試みを説く。一例として名寄健康の森に広がる豊かな森林資源と名寄公園の存置されている『銀河鉄道の夜』に倣った^{なら}ロマン広がる物語を創作・創造してはどうかと提言。出席した議員は、時折ペンを走らせるなど藤盛氏の講演に聞き入っていた。



藤盛氏の講話に聞き入る議員たち

委員会活動をお知らせします

総務文教常任委員会

委員会は1月31日、2月29日、3月12日、15日、19日の5回開催した。1月の委員会はT V H放送中継局について、仮称・市民ホール基本設計進捗状況について、公立学校統廃合検討委員会の報告について、第2次子ども読書活動推進計画について、2月の委員会では行財政改革推進計画後期の策定状況について、仮称・

市民ホール基本設計進捗状況について説明を受けた。3月に開催した3回の委員会は、第1回定例会で付託された、仮称・市民ホール建設計画に関わる請願の審査を行い、全会一致で不採択と決定した。



審議に臨む委員

市民福祉常任委員会

3月7日、15日に、第1回定例会で付託された名寄市介護保険条例の一部改正と第5期高齢者保健医療福祉計画及び介護保健事業計画の審査を行い、原案通り可決すべきものと決定した。その他、1月16日、2月14日の委員会では、各所管から、市有物件等におけるアスベスト分析調査の結果、地域福祉計画等の各種計画

の策定状況、一般廃棄物収集業務及び市税条例の一部改正、市立病院第3四半期の収支状況、地域医療再生計画事業、東病院発電機室で見えられたアスベストの処理状況の説明を受けた。



付託案件を審議する委員

経済建設常任委員会

委員会は、1月16日、2月15日、28日、3月15日に開催し、平成23年第4回定例会で付託された名寄市畜産物処理加工施設条例の制定及び名寄市公設地方卸売市場条例の一部改正と、平成24年第1回定例会で付託された名寄市営住宅管理条例の一部改正をそれぞれ審査し、名寄市畜産物処理加工施設条例は、一部修正し

て可決すべきものと決定し、その他の付託議案は原案のとおり可決すべきものと決定した。

2月28日には、建設中の名寄市畜産物処理加工施設を視察し、施設設備の説明を受けた。



施設を視察する委員

議会運営委員会

平成24年第1回定例会の日程及び議事運営等を協議するため、2月27日、3月7日、19日に委員会を開催した。定例会の会期を2月29日から3月22日までの23日間とすること。3会派による代表質問を3月12日にすること。9人による一般質問を同13日、14日に行うこと等を確認した。また、上程議案は36件で、うち名寄市

介護保険条例の一部改正他1件を市民福祉常任委員会に、名寄市営住宅管理条例の一部改正議案を経済建設常任委員会に、それぞれ審査を付託し、会期内での結審を要請した。加えて、平成24年度各会計予算案を全議員で構成する予算審査特別委員会に付託、3月7日に提出された仮称・市民ホール建設に関わる請願を総務文教常任委員会に付託し、同じく会期内結審を求めた。なお、追加議案は2件であった。

きほう



歌をうたうこと
名寄市西12条北4丁目 廣橋 容子

歌をうたうことは何の役に立つのでしょうか。歌は合唱のグループ「そら」の仲間と私にとって、楽しく、嬉しく、そして意義深いことなのです。声を合わせるといことは、心を合わせるといことです。こころの通う仲間とともに、命や平和や愛を謳ううわしい歌詞、美しいメロディに出会い、心ふるわせたり踊ったりしながらうたうことは、生きる喜びそのものです。先日はおかげさまで第2回のミニコンサートを開かせて頂くこともできました。歌のうたえる所は平和だと思います。そんな世の中が続くよう仲良くうたい続けていきたいものと願っています。



創立10周年を迎えて
名寄市風連町豊里 林 慶三

風連町の20代中心の農業後継者が集まり、視察研修や親睦交流などを行っている「風連アグリエイトクラブ」が平成23年度で創立10周年を迎えることが出来ました。

3月17日に開催しました創立10周年記念式典には多くの先輩方にもご出席いただき、現クラブ員と共に楽しい時間を過ごしました。今日までの10年間の歴史を築いて下さいました先輩方には感謝と敬意の気持ちで一杯です。

この節目を契機に、アグリエイトクラブは現在34名のクラブ員が一丸となって、今後更なる活動の充実を仲間作りに励みたいと思います。

議会日誌

- | | | | |
|--------|---------------------------|-----|---|
| 12月19日 | ・議会報特別委員会 | 3日 | ・全国高速自動車道市議会協議会役員選考委員会・正副会長・監事・相談役会議（東京都） |
| 21日 | ・経済建設常任委員会 | 8日 | ・全国市議会議長会第131回地方行政委員会（東京都） |
| 1月11日 | ・議員会新年研修会 | 10日 | ・紋別市議会議員行政視察 |
| 16日 | ・市民福祉常任委員会
・経済建設常任委員会 | 14日 | ・市民福祉常任委員会 |
| 23日 | ・上川北部市町村議会議長会1月定例会（名寄市） | 15日 | ・経済建設常任委員会 |
| 31日 | ・各会派代表者会議
・総務文教常任委員会 | 17日 | ・各会派代表者会議 |
| 2月1日 | ・全国市議会議長会基地協議会第75回総会（東京都） | 27日 | ・議会運営委員会
・議会報特別委員会
・総務文教常任委員会 |
| 2日 | ・広域行政圏市議会協議会第43回総会（東京都） | 28日 | ・経済建設常任委員会 |

編集後記

▶2月29日から3月22日まで、第1回定例会が行われました。引き続き二元代表制の役割をしっかりと実行し、市民目線の行政を目指していきたいと思ひます。▶例年よりも降雪が多く、雪に悩まされたことと思ひますが、雪の多い年は豊作になると言われています。今年もおいしいもち米や地元の農作物が食べられることを楽しみにしています。雪を利用した農産物の

保管施設等、さまざまなアイデアで雪をプラスに変えていきましょう。▶わが街にも遅い春が到来し、新年度を迎え、行事等忙しい毎日ですが、交通安全・労働安全に留意し、すこやかに安心して暮らせるまちづくりを実現する事を目標に、市民の皆様との合意形成をモットーに議会活動をしていきます。

（直）

